



発行  
城南区  
人権啓発連絡会議

事務局  
城南区  
生涯学習推進課  
TEL 833-4044

## 第二十一回城南区人権を考えるつどい

### 差別のない社会づくりに私ができること ……歌い続けること

オペラ歌手 渡辺 千賀子さん

第二十一回「城南区人権を考えるつどい」が七月十一日(木)城南市民センターで城南区人権啓発連絡会議の主催により、オペラ歌手の渡辺千賀子さんを迎え、多くの参加者を得て開催されました。

「竹田の子守唄」の歌に続いて、生い立ちを話し始められた渡辺さん。被差別部落で育ったのですが、母の考えで二十歳になるまで全く知らされず、出自を知ることとなった出来事や思い、その後の生き方を、次の

ように話されました。

小さい頃から歌が好きで自然に歌手になりたいと思うようになり、本格的なレッスンを受け始めたのは中学二年生の頃。音楽大学に進学して世界に羽ばたきたい夢を持っていたが、ミシンで内職をしている母のこゝとや家庭の消費を考えると大学進学は難しく、短大に進学することに。短大の卒業間際、被差別部落の男性と付き合っている友達から「両親に結婚を反対されている」と相談されました。幼い頃から親に「差別してはいけない」と教えられて育ってきたので、友達に「本人同士が好きなら結婚すべき」と伝えましたが、友達は交際相手と別れてしまい、このことが心のどこかに引っ掛かっています。

### 参加者の声

素晴らしい歌声と貴重なお話で、とても有意義な時間でした。差別はまだまだ根強く残っているということとを意識して、差別をなくすため行動しなければと思いました。

差別をする心ない人はまだまだ残念ながらいると思いますが、そこで負けてこの世を去ってしまわないで、力強く闘っていく人、一緒に応援し闘う人が多くなる事で、差別をなくしていけると思いました。

●素晴らしいお話でした。差別はいけないとわかっているけれども、なかなかなくなりません。一人ひとりがよく考え行動していきたいと思えます。

●今頃、何故と思うお話を伺い、改めてまだまだ差別があることを知りました。相手を思いやる心を持つ人がもつともっと多くなることを願っています。



手話を交えて歌う渡辺さん

## 平成25年度 城南区人権啓発連絡会議の活動

### 総会・委員研修会

城南区人権啓発連絡会議の総会が六月二十四日(月)城南市民センターで開催されました。一部役員の選出及び平成二十四年度の事業報告、二十五年度の事業計画を審議し、承認されました。

総会終了後、教育委員会学校指導課の片山寛詞主任指導主事を講師に委員研修会を行いました。研修会では、「学校における人権に関わる事象について」と題し、学校における同和問題などの人権教育の取り組み状況や、福岡市で発生した差別落書きについて報告されました。

### 街頭啓発活動

その中でも、特にここ数年、「ガイジ」という「障がい児」を省略した言葉で相手をからかったり、攻撃したりする事象の報告件数が増加しているとのことでした。子どもたちは、この言葉を障がい者差別であるとい

う認識もありません。日頃は仲のよい友達との会話の中で使っていることや、場所も学校内に限らず、公園など地域社会の中に広がっていることが説明されました。

日常の生活の中で、子どもたちが使っている言葉に、相手を傷つけるような言葉を使っていたら、その場で言葉の差別性や意味をしっかりと考えさせることが大切であると認識を新たにしました。

十一月二十日(水)に、城南区役所地下鉄別府駅周辺やサニー七隈店及びレッドキャベツ友丘店の駐車場周辺の三会場に分かれて街頭啓発活動を行いました。委員など四十七名が、買い物客や通行人に十二月の人権尊重週間の周知や「人権を尊重する市民の集い(城南市民センター)」への参加を呼びかけました。

## 全11校区で勢揃い 別府校区人権尊重推進協議会が発足



校区の「一人ひとりの人権が大切にされるまちづくり」への熱い思いが実を結び、六月三十日、別府校区の人権尊重推進協議会設立総会が行われました。

総会終了後は、子どももの学び館代長の福永宅司さんによる「ぬくもりのある人権のまち別府をめざして」と題しての記念講演が行われ、熱心に話を聞く人々で講堂は満席でした。同協議会の三角隆義会長は「子どもから高齢者にいたるまで『地域で育て、地域で見守る』の考えに基づき、安全で安心な明るく住みよいまちづくりの一環と位置づけて、時間をかけながら育んでいきたい」と語っていました。

この別府校区の設立により、城南区では十一校区すべてに同協議会が揃いました。差別のない、人に優しい人権のまちづくりの輪が更に広がるように、全校区で活動が進められるよう力を結集したいものです。

### 平成25年度城南区人啓連の活動内容

- 6月24日(月)
  - 総会
  - 役員の選出
  - 平成24年度事業報告
  - 平成25年度事業計画
  - 委員研修
    - 「学校における人権に関わる事象について」
    - 教育委員会指導部学校指導課 片山寛詞主任指導主事
- 7月11日(木)
  - 城南区人権を考えるつどい
  - 人権を尊重し、ぬくもりと潤いのあるまちづくりを目指して
  - おはなしコンサート
  - オペラ歌手 渡辺千賀子さん
- 8月28日(水)
  - 第1回運営委員会
  - 人権尊重週間の街頭啓発の取り組みについて
  - 城南区人権を考えるつどいの結果について(報告)
- 11月20日(水)
  - 人権尊重週間街頭啓発
  - 福岡市人権尊重週間行事周知及び「市民の集い」PR(チラシ等配布)
- 12月4日(水)
  - 人権を尊重する市民の集い
  - 実践報告「あなたらしく私らしく、自分らしく」……
  - 南片江校区人権尊重推進協議会
  - 講演「お話を朗読と歌と……心の講演会」絆の大切さ いのちはひとつにつながっている」
  - 講師 声優・歌手・脚本家 佐久間レイさん
- 2月3日(月)
  - 第2回運営委員会
  - 平成26年度総会に付議する事項
  - 広報紙「こころ」の発行
- 3月15日(土)
  - 広報紙発行
  - 城南区人権啓発連絡会議だより「こころ」第24号発行(区内全戸配布)

### 第四十二回人権を尊重する市民の集い

第四十二回福岡市人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」が、十二月四日(水)城南市民センターで四百名近い参加者を得て開催されました。開会行事の後、南片江校区人権尊重推進協議会からの実践報告と、声優や歌手として活躍されている佐久間レイさんによる講演が行われました。

#### 「心の講演会」絆の大切さ いのちはひとつにつながっている」

声優・歌手・脚本家 佐久間 レイさん

佐久間さんは、「それいけーアンパンマン」のバタコ役や「魔女の宅急便」のジジ役などの声優で、また、シングルマザーの経験を基に子育てや女性の生き方、人権などをテーマに各地で講演活動を行っておられます。ひとり語りや歌を交えての会場は、コンサートのような空間でした。

冒頭、自己紹介を兼ねて様々なキャラクターの映像を映しながら声の実演をされると、会場からは拍手と歓声があがりました。震災地で多くの人の励みとなった「アンパンマンマーチ」や「ふるさと」の歌を織り交ぜながら、優しい語り口で人権についてお話されました。

#### 「しなやかな心を大切に」

声優の仕事をしていると、改めて言葉の大切さを強く感じます。早くにシングルマザーになり、子育てに悩んだり、つまずいたりしながらも、

今日までこられたのは、周囲の温かさや優しさ、わが娘の存在があったからだ。強くなるというのは、柔らかなしなやかなること、ストレッチが十分であれば怪我をしないように、心も同じ考え方で、捉え方一つなんだ。

自分が元気な時は分らないけど、しんどい時や辛い時に人からも優しい言葉は、本当に癒されて心の助けとなります。仕事や人間関係、子育てで悩んでいる人、はじめられて辛い人など、言葉や優しさによって救われる心や命は、みなさんの周りにも沢山あります。どうか、しなやかな心を大切に、やわらかく温かな輪をみなさんの力で広げてくださいます。

#### 朗読「いつか見る景色」から

「山頂からの一番素晴らしい景色は登った人しか見えない。そこにたどり着くまでのいろいろな出来事が重なって自分に向かっている瞬間がある。それはその時のその人しか見えない景色」



ひとり語りを演じる佐久間さん

「だれでも必ず登れる山。それは私の人生という山。立派な山じゃなくいいし、

ゆっくりでもいい。ただり着いた場所からは必ず、自分だけの輝く景色が見える」

「私たちが十一面観音と同じ、心の中にいるんな顔を持っている。どうしても好きになれない自分もある。でもそれでいい。全部含めて自分。その中で、どの自分でありたいかは自分で決められる」

観ている人によって、心にしみる言葉も違います。それは皆さんの歩んできた人生が違うからです。今、心に響く言葉が違うのもしかり。そのことをオリジナル脚本「いつか見る景色」の朗読で語られました。

#### 参加者の声

●心の持ちよう、幸にも不幸にもなることがよくわかった。これからは前を向いて進みます。

●自分の人生(生き方)楽しんでるのかな?もう一度、問いかけたと思います。心のストレッチができました。ありがとうございます。

●心のストレッチをして、前向きに生き、自分に自信を持ち、生きることの大切さを学びました。

●一人ひとりの命の大切さ、絆の大切さが人権へつながると感じました。

#### 実践報告

### 南片江校区人尊協

#### 「自分らしく」活動していきたい

会長 佐土原 宏典さん・研修部長 西 朋子さん



南片江校区人権尊重推進協議会は、平成二十四年三月十七日設立後、二年目の活動を行っています。最初の委員研修で講演された稲積謙次郎さんから「完璧を目指さない方がいい。完璧なんて不自然なこと」と六十点主義の提唱を受け「自分にできる小さな一歩」から活動を始めました。

また、公民館はもとより小・中学校やシニアクラブ等の諸団体と連携し、幅広い年齢層に人権についての啓発活動を進めていることなどが報告されました。

最後は「世代間を超えて人と人が思いやりを持って支え合える校区であり続けるよう、これからも「自分らしく」活動していきたい」と発表を締めくくりました。

### 平成25年度 福岡市人権尊重週間入選作品

区内のみなさんの標語とポスターの入選作品を紹介します。

- いやなこと あつたらはなそう 一人じゃないよ  
長尾小学校 6年 河本 諒也さん
- 気づいてる? 相手の心の その痛み  
長尾小学校 6年 森崎 哲至さん
- いじめを止めるのはいつか時の勇気  
みてみぬふりは一生のこうかい  
鳥飼小学校 5年 尾野 蒼介さん
- 一人きり さみしくないの 手をつなごう  
鳥飼小学校 6年 澤淵 真輝さん
- くもり空 笑顔一つで 晴れになる  
別府小学校 6年 馬場 純子さん
- ぬけだそう 見て見ぬふりの 自分から  
別府小学校 6年 S.Jさん
- 笑顔の輪 いじめをなくす バリケード  
別府小学校 6年 伊藤 遥日さん
- 友達と 笑顔の花を 咲かせよう  
城南小学校 6年 多川 詩織さん
- 「ありがとう」 君もぼくも 一歩前  
田島小学校 6年 大部 尚起さん



田島小学校 4年 伊藤 心優さん



田島小学校 4年 綾部 絢太さん



城南中学校 2年 満吉 菜々子さん



別府小学校 4年 冷川 静流さん



別府小学校 4年 廣橋 真於さん



片江小学校 4年 森永 碧さん



城南中学校 1年 秀島 美衣さん

#### 【編集後記】

「人権」と聞くと堅いイメージをもたれ、敬遠されることがありますが、人間が人間らしく幸せに生きていくための権利であり、すべての人が生まれながらに持っている権利です。

紙面で紹介していますが、七月と十二月にコンサート形式でつどいを開催しました。皆様が人権について考えるきっかけになればと思っています。